

	公表	事業所における自己評価総括表	
--	----	----------------	--

○事業所名	はなえみ学舎		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 4日	～	令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 4日	～	令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p><生活支援・社会性の支援> 日常生活での基本的なルールやマナーの指導が丁寧に行われている。特に、おやつ時間のルール遵守や、片付け、手洗いなどの基本的な生活習慣の確立に向けた支援が充実している。また、他児との関わりの中で適切な距離感やコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を多く設けており、社会性の発達を促す環境が整っている。</p>	<p><生活支援・社会性の支援> 児童同士の関わりを大切にしながら、必要に応じて職員が介入し、適切な関係性の構築をサポートしている。特に、年齢や発達段階の異なる児童間での交流においては、お互いを思いやる気持ちや譲り合いの心を育む支援を心がけている。また、活動の切り替えや時間管理についても、視覚的な手がかりや明確な声かけを用いて、児童が見通しを持って行動できるよう工夫している。</p>	<p><生活支援・社会性の支援> 児童の感情コントロールや自己表現力をより育むための、系統的なソーシャルスキルトレーニングの導入が期待される。また、集団活動とともに、個別の課題に応じた支援プログラムの充実も必要である。さらに、保護者との連携をより密にし、家庭での様子や課題を共有しながら、一貫した支援を提供できる体制づくりを進めることが望まれる。</p>
2	<p><認知機能向上> 個々の進度や理解度に合わせた柔軟な支援を実施している。職員が児童の状態を細かく観察し、一人で取り組める時は見守り、サポートが必要な時は適切なヒントを提供するなど、きめ細かい支援を行っている。特に漢字学習では、ヒント表の活用や、職員が別紙に書いた選択肢から選ぶ方法など、児童が自信を持って取り組める工夫がなされている。また、タイマーを使った時間管理や、目標設定による動機付けなど、効果的な学習方法を実践している。</p>	<p><認知機能向上> トレーニングに対する意欲を高めるため、課題と報酬と組み合わせた動機付けシステムを確立している。また、児童の集中力や体調に応じて、休憩を適切に挟んだり、学習場所を変えたりするなど、柔軟な対応を行っている。さらに、音読や計算など、つまずきやすい分野については、実物を使った具体的な説明や、スモールステップでの指導を実施し、理解度を深める工夫をしている。</p>	<p><認知機能向上> 記録や進捗管理をより体系的に行い、長期的な成長を可視化できるシステムの構築が望まれる。また、児童の得意分野を活かしながら、苦手分野への取り組みを促す指導方法の開発や、集中力持続のための環境整備にも注力する必要がある。個別の学習計画をより詳細に立て、定期的な見直しと調整を行うことで、より効果的な支援につなげることができる。</p>
3	<p><子どものさまざまな能力を引き出すために> 体育館活動や創作活動など、多様な活動プログラムを提供している。特に、アイロンビーズやスクラッチアートなどの創作活動では、児童の興味関心に応じた題材選びや、段階的な難易度設定により、達成感を味わえる支援を行っている。また、体育館での運動活動では、ルールの理解や身体能力の向上とともに、協調性や社会性も育てている。</p>	<p><子どものさまざまな能力を引き出すために> 活動内容を児童の状態や希望に合わせて柔軟に調整し、無理なく楽しめる環境を整えている。また、製作活動では完成までの過程を細かく区切り、児童が見通しを持って取り組めるよう工夫している。さらに、活動を通じて他者との関わりや協力する機会を意図的に設け、社会性の発達を促す場面を作り出している。</p>	<p><子どものさまざまな能力を引き出すために> より多様な活動プログラムの開発と、児童の発達段階や興味に応じた活動のカスタマイズが期待される。また、活動を通じた学びや成長の機会をより意識的に設定し、支援目標との連携を強化することも必要である。さらに、季節や行事に応じた特別活動の充実や、地域資源を活用した活動の展開など、より豊かな経験を提供できる環境づくりを進めることが望まれる。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p><基本的生活習慣の確立と自己管理能力の向上> 手洗いや持ち物の管理など、基本的生活習慣の確立に向けた支援において、個々の児童の状況に応じた段階的な指導が十分でない場合があります。特に新しい環境での適応に課題がある児童に対して、環境の変化に伴う不安定さへの対応が難しい状況も見られます。また、強制的な指導は避けるべきものの、習慣化を図る上での適切なアプローチが確立できていない面があります。</p>	<p><基本的生活習慣の確立と自己管理能力の向上> 児童一人一人の特性や発達段階が異なる中で、個別支援と集団支援のバランスを取ることが困難となっています。特に、自己管理能力の向上には継続的な支援が必要ですが、家庭との連携や一貫した支援方針の共有が十分でない場合があります。また、視覚的な手がかりの活用など、効果的な支援ツールの整備が追いついていない状況も見られます。</p>	<p><基本的生活習慣の確立と自己管理能力の向上> 視覚的なスケジュール表の活用や、スモールステップでの支援アプローチを導入し、児童が見通しを持って活動できる環境を整備します。また、送迎時の情報交換や連絡帳を活用し、家庭との細やかな情報共有を強化します。さらに、できたことを具体的に褒め、達成感を積み重ねていく支援を実施します。</p>
2	<p><社会性の発達と対人関係スキルの向上> 集団活動において、特に発表会などの場面での参加が難しい児童への対応に課題があります。また、他児との関係づくりにおいて、適切な距離感やコミュニケーション方法の指導が不十分な場合があります。感情コントロールや言葉遣いの面でも、継続的な支援が必要な状況が見られます。</p>	<p><社会性の発達と対人関係スキルの向上> 児童の社会性の発達段階や個別の特性に応じた支援プログラムの構築が不十分です。特に、トラブル時の適切な対処方法の指導や、グループ活動を通じた協調性の育成において、効果的なアプローチが確立できていない面があります。また、学校や家庭との連携による一貫した支援体制の構築にも課題があります。</p>	<p><社会性の発達と対人関係スキルの向上> 小グループでの活動を通して、協力や譲り合いの大切さを体験的に学べる機会を提供します。また、社会性の芽生えを大切にしながら、無理のない形で関係づくりを支援していきます。さらに、学校との定期的な情報共有を行い、特に言葉遣いなど気になる点について一貫した対応を図ります。</p>
3	<p><身体活動と感覚統合の支援> 運動活動を通して心身の調整において、感覚統合の視点を十分に取り入れた支援が不足しています。また、適度な運動によるストレス発散と学習への取り組みのバランスをとることに課題があります。</p>	<p><身体活動と感覚統合の支援> 運動活動を通して支援の重要性は認識されているものの、個々の児童の感覚特性に応じた具体的なプログラムの開発が不十分です。また、専門的な知識を持つスタッフの確保や、適切な活動場所の確保なども課題となっています。</p>	<p><身体活動と感覚統合の支援> 医療機関との連携を密にし、感覚統合の視点を取り入れた支援を継続的に実施します。また、運動活動を通して心身のリラクセスを図り、学習に取り組める状態づくりを支援します。</p>